

畫本圖編

合本



三四



序



画也。步神為神也。活物也。
徒知彩五色而無生意。則
與木偶人何異也。矣。其一蜂
以画鳴。其傳出。以窗。以羽
蝶也。一世。好手而名。於世。
存焉。蜂又傳神。不啻。藍青
今年。以師。繪画。描。世上

有吳子者則求觀之耳吁
三年之花王分是此者誰
乎予書函中寓意五年今也
補蜂之活神而遂序
寬延辛未之夏五月

東都五以則識



畫本圖編上卷目錄

布袋唐子

瀧地獅子

上篇句

继木の傍

竹白斑雀

石公此當流

茄子小角豆

撰約

雨中

蜀黍耳鼠

みけ

僧正坊銅粥

鴻門の會

笹子點

交魚

蓮生

張物

莊園地圖

さくら小蟬

布袋唐子



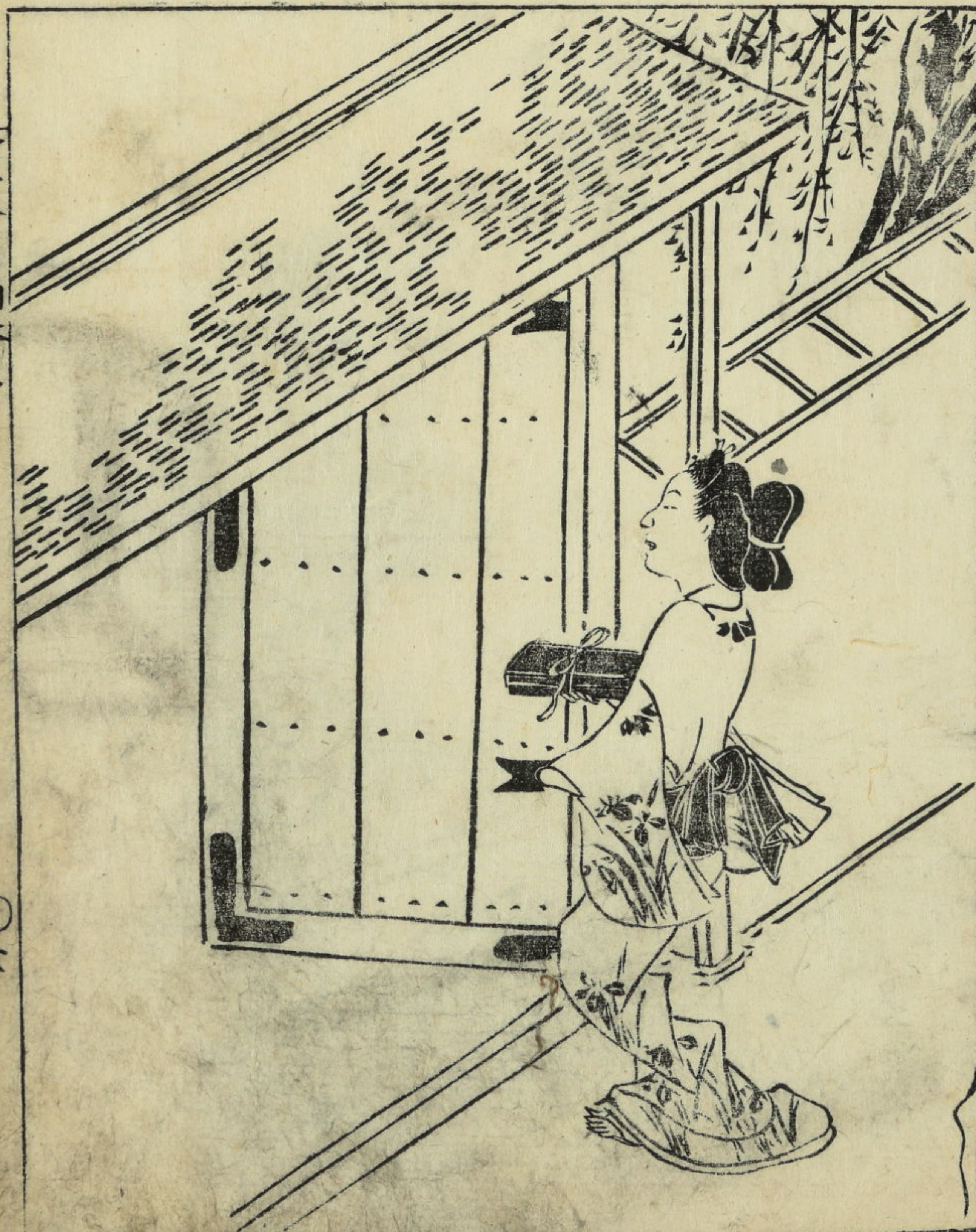
瀧の獅子





正月





三月



五月

書不區終老



書不區終老

七月

畫本圖卷上



畫本圖卷上

九月

書本圖經卷上

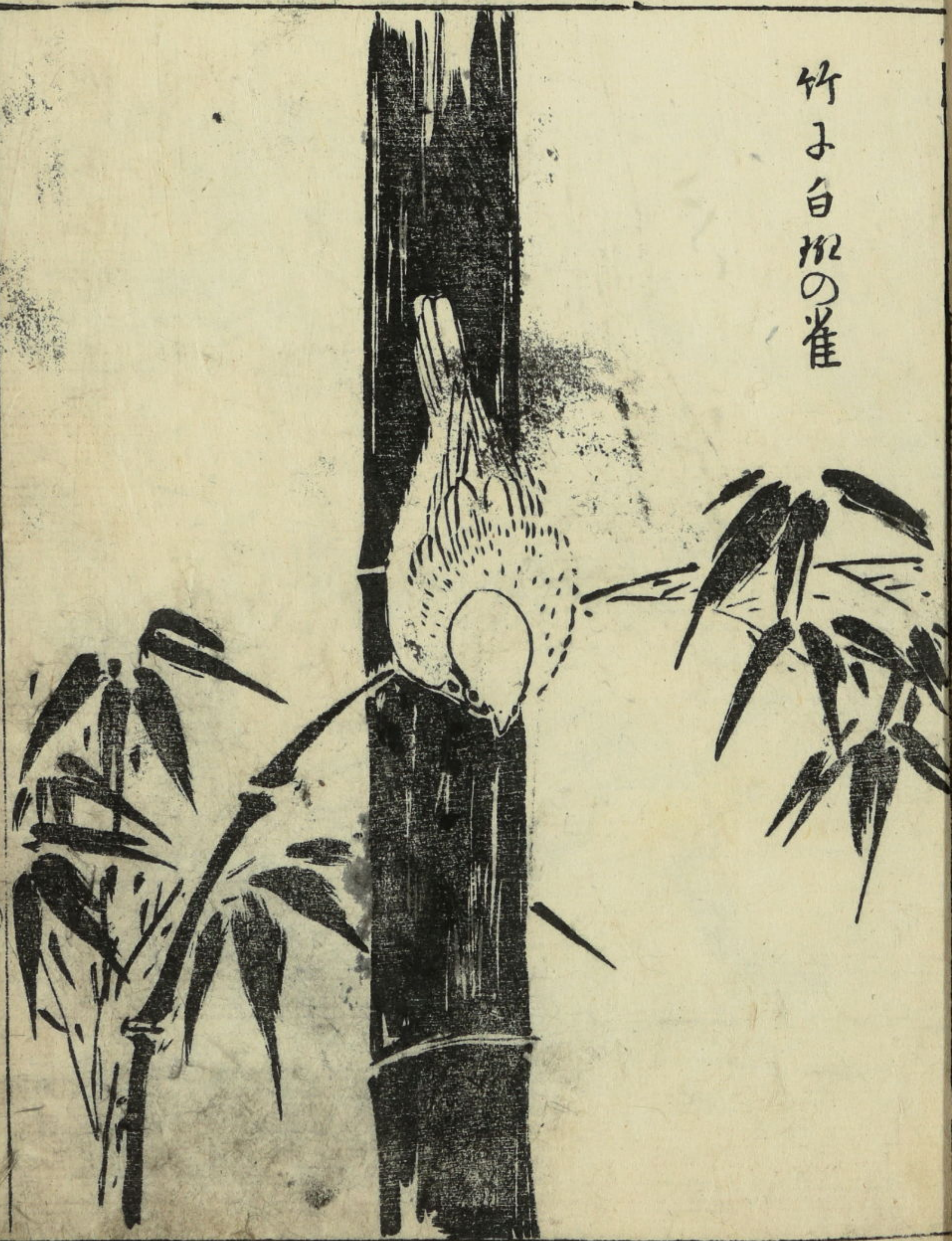


書本圖經卷上

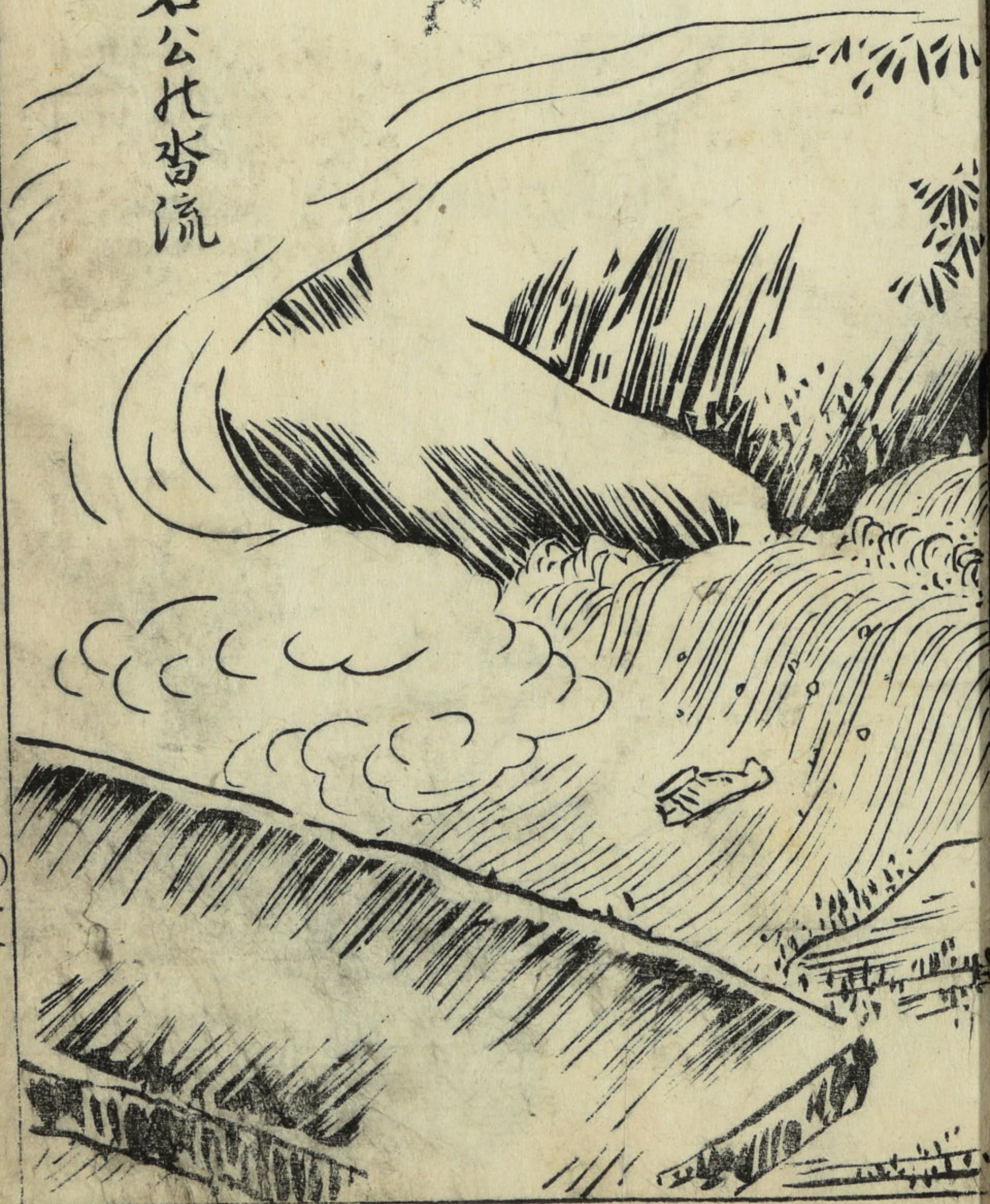
継木の枿



竹子白斑の雀



石公此沓流

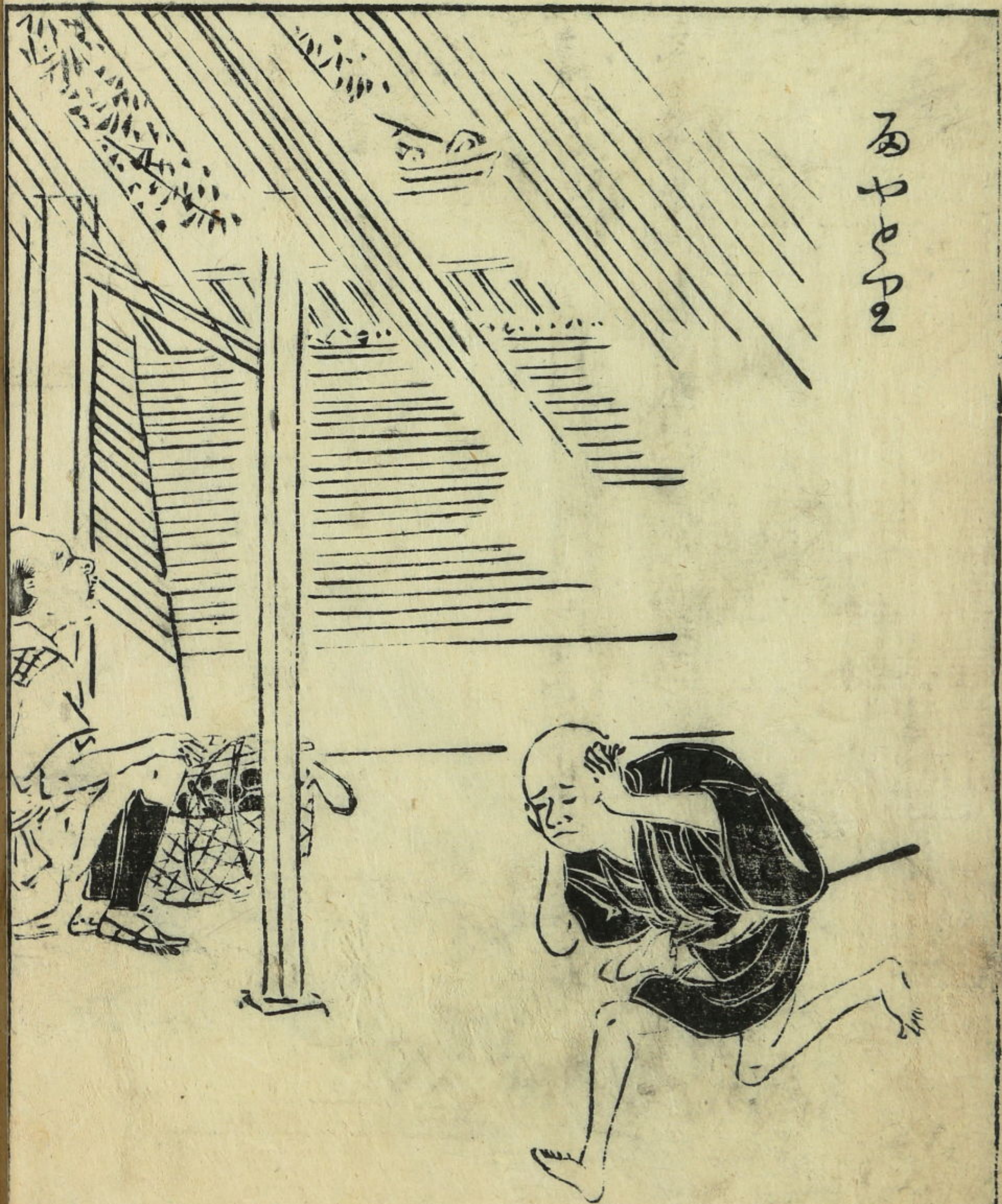


茄子
大角豆





待



るやとて

日本書紀

蜀黍子鼠



みづ

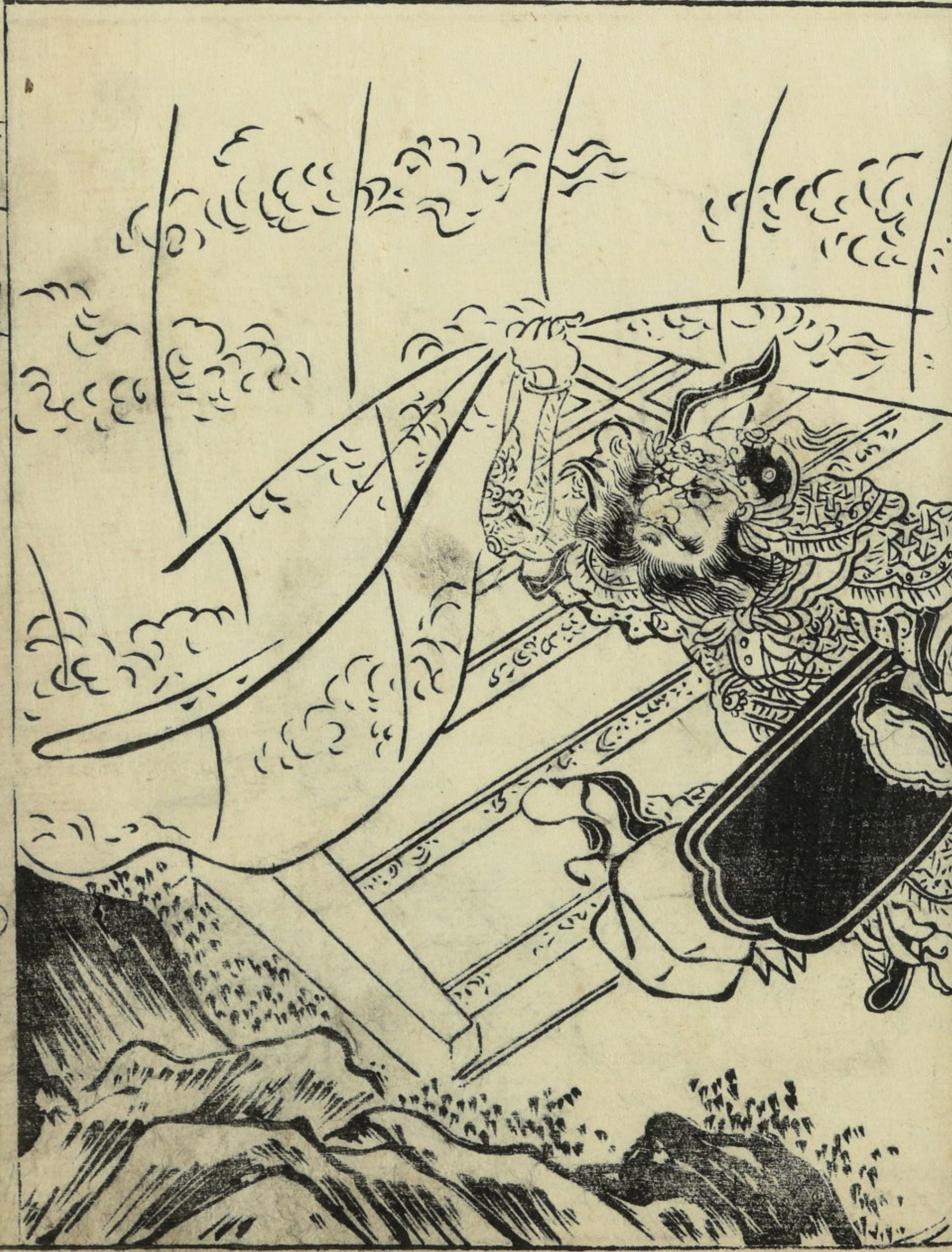


僧正坊初集

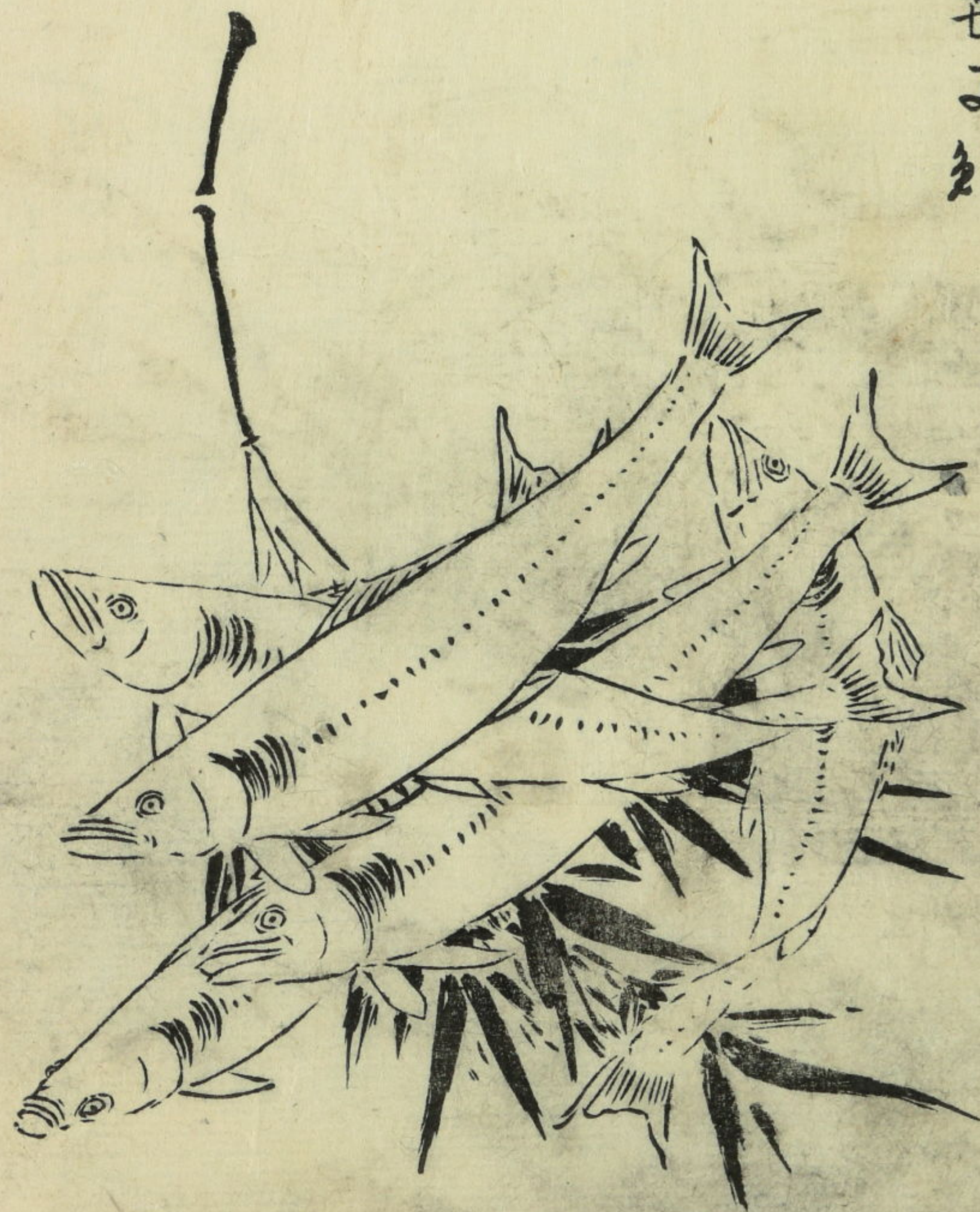
書本圖經卷五



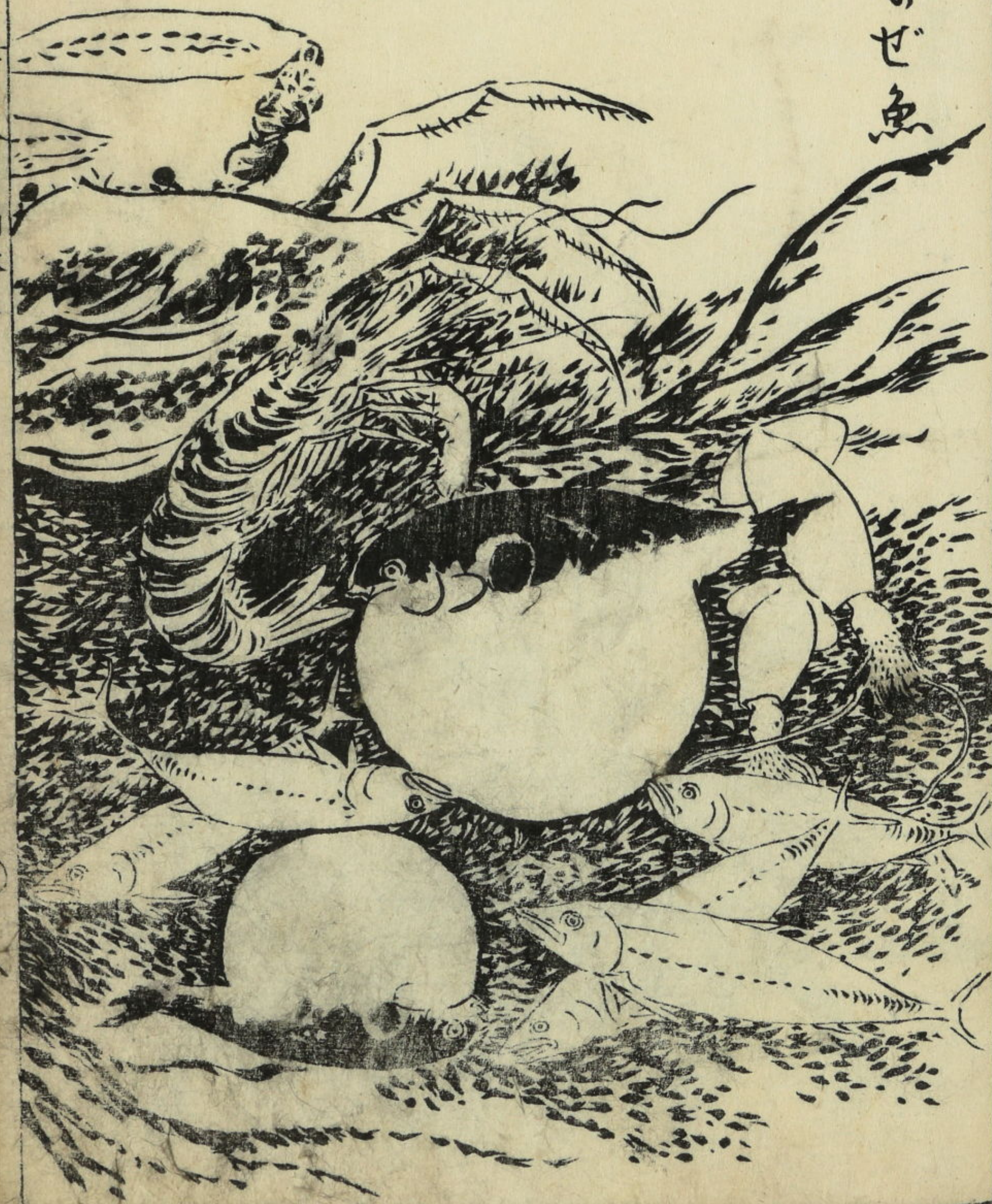
鴻門の會



岳之鮎



まぜ魚

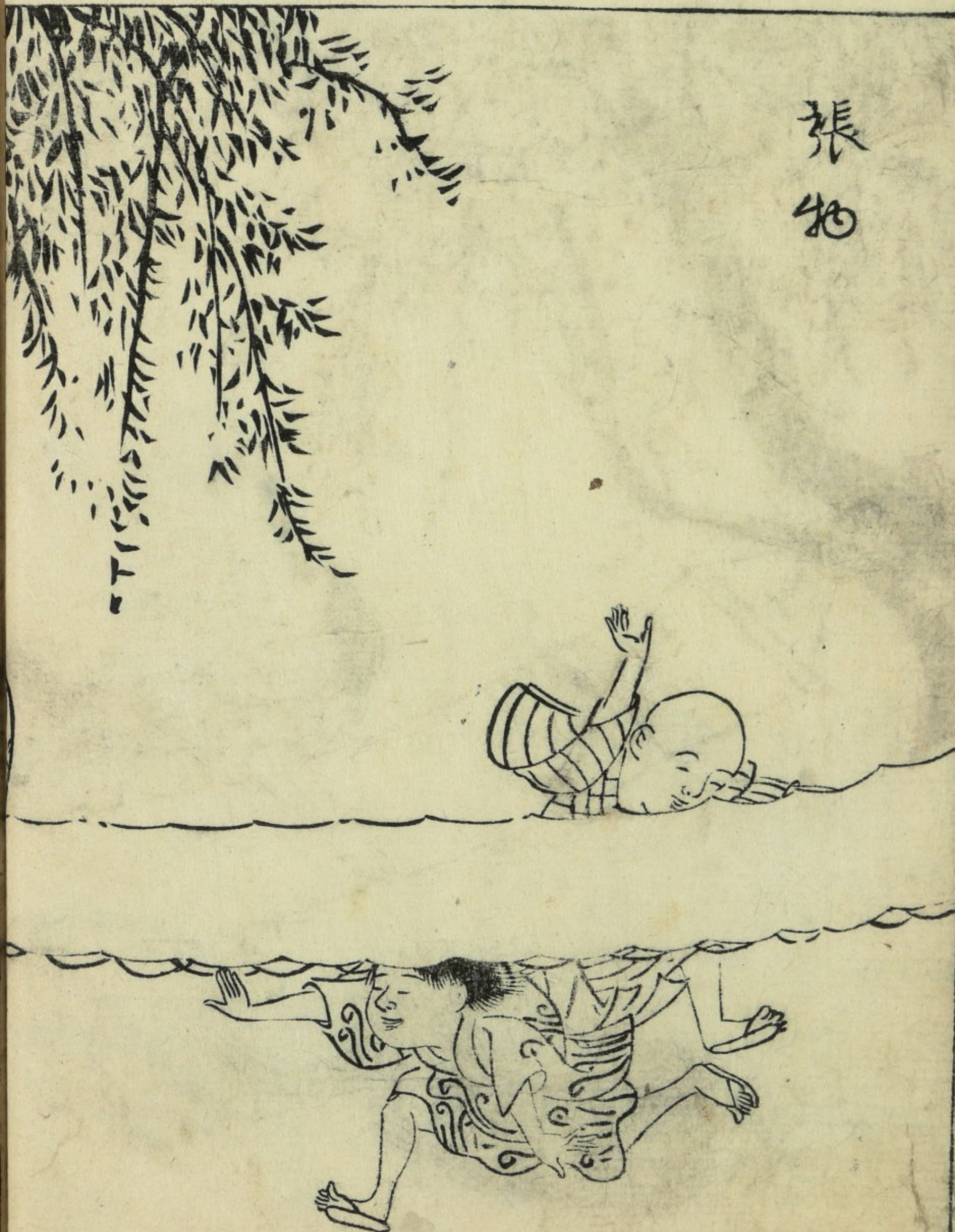


蓮生





張
物



玄德
關羽
張飛



畫本圖經卷上

畫本圖經卷上

〇二十一



さくしほ蝶

畫本圖編中卷目錄

三	福	神	三	福	神	三	福	神
鈴	子	桃	鈴	子	桃	鈴	子	桃
丹	竹	舞	丹	竹	舞	丹	竹	舞
鹿	富	踊	鹿	富	踊	鹿	富	踊
東	方	朔	東	方	朔	東	方	朔
白	子	大	白	子	大	白	子	大

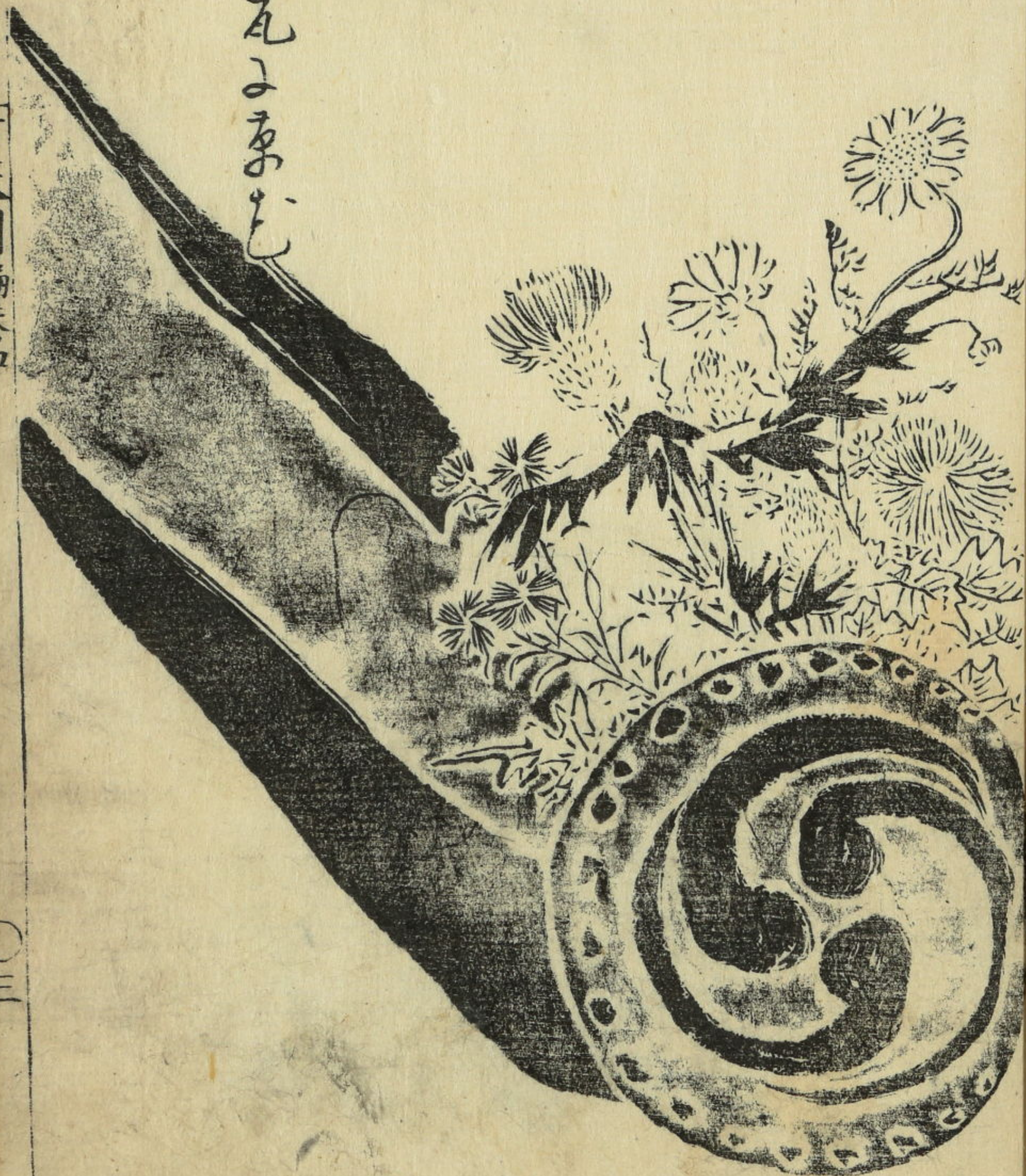
三福神



蛤
子
売
の
花



瓦
子
売
の
花





英一標

むぎつら



琵琶子扶

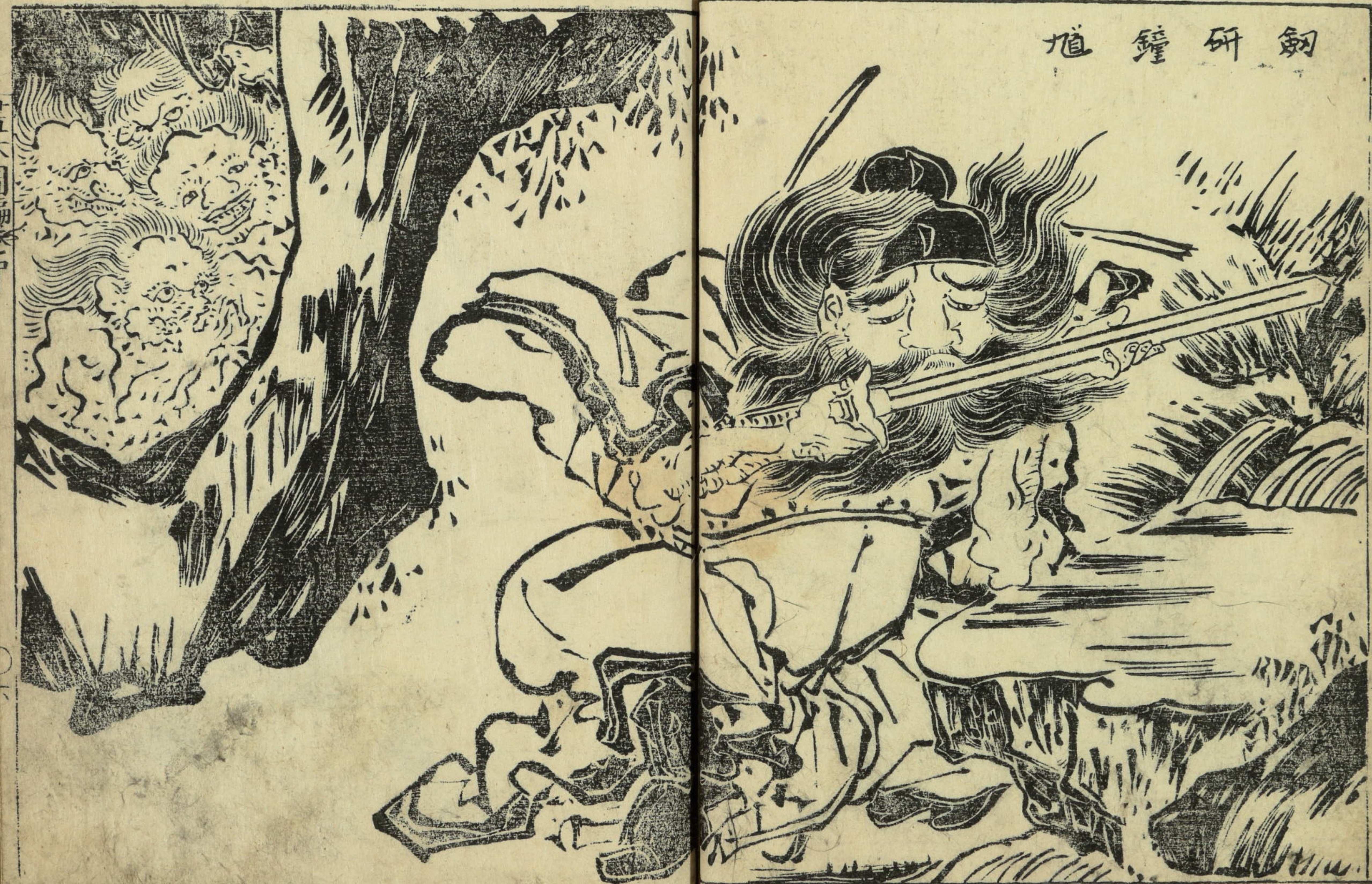


火桶子仙



劍研鐘

畫本圖經卷中



世本圖經卷中

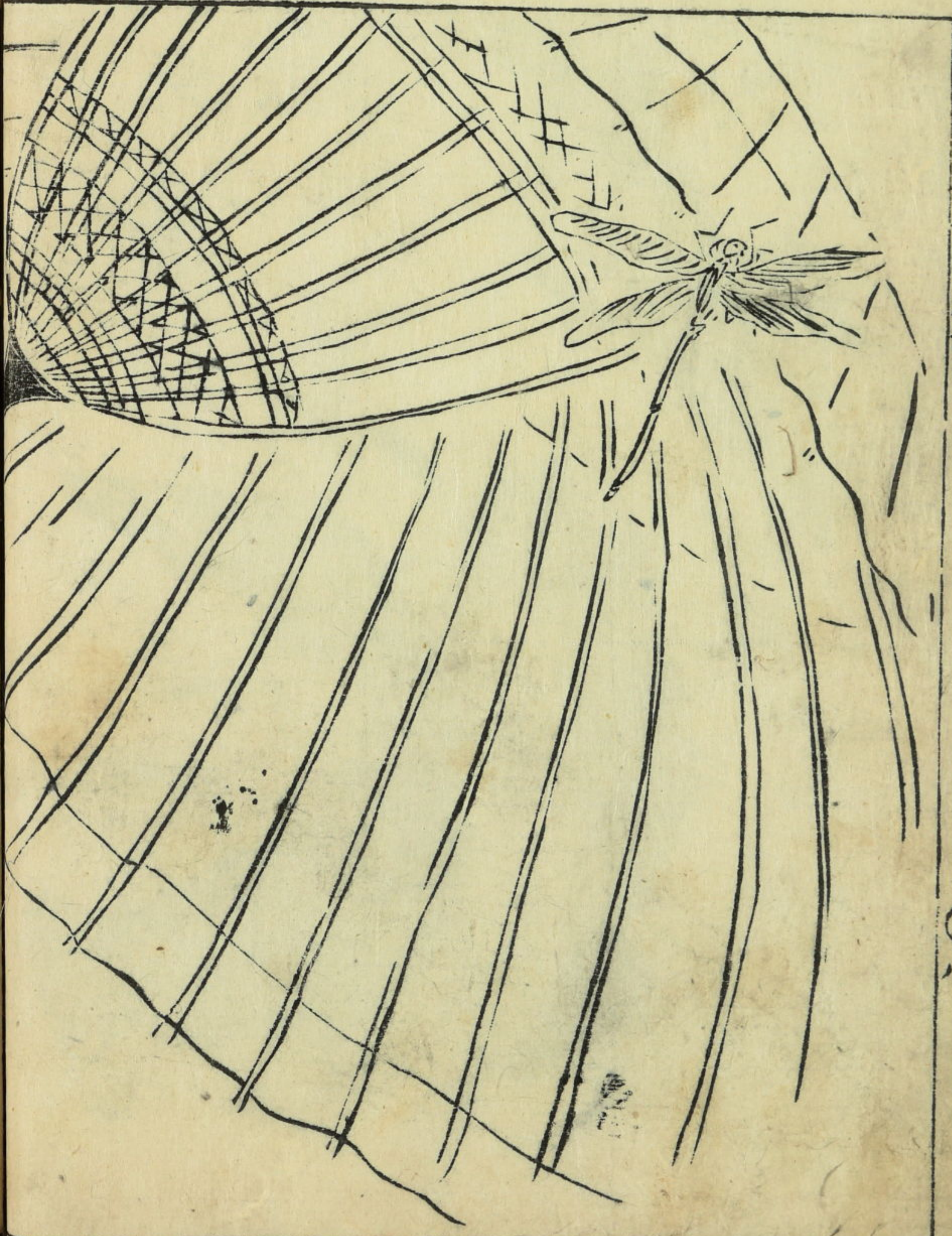
丹波掣



書林圖經卷中

寒山拾得







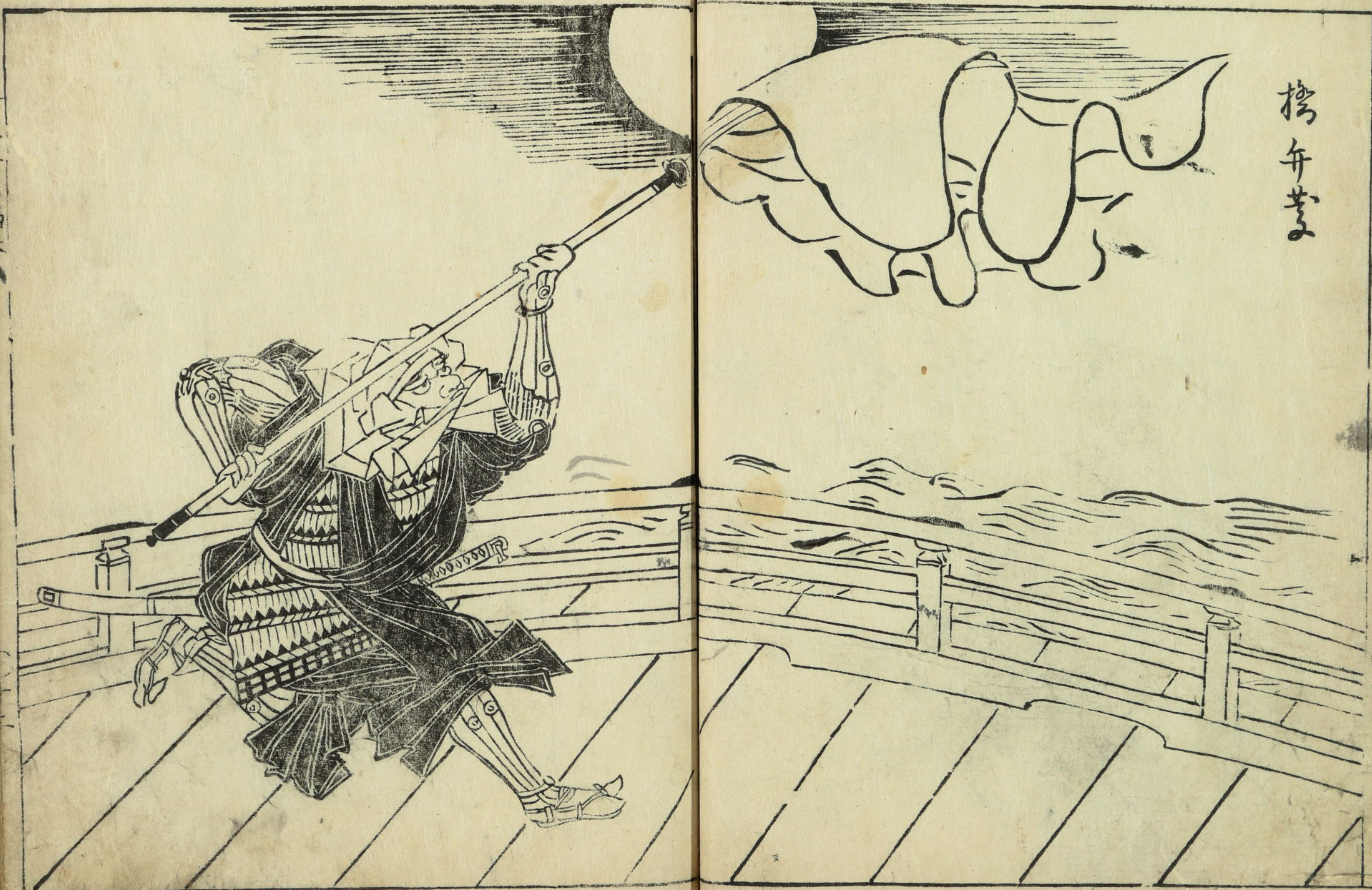


新子ぬらう



くはしき

擡并草





埴子
鶏

埴子
鶏





張果郎



いまだら





日本書紀卷之五



のりみゆ

日本書紀卷之五

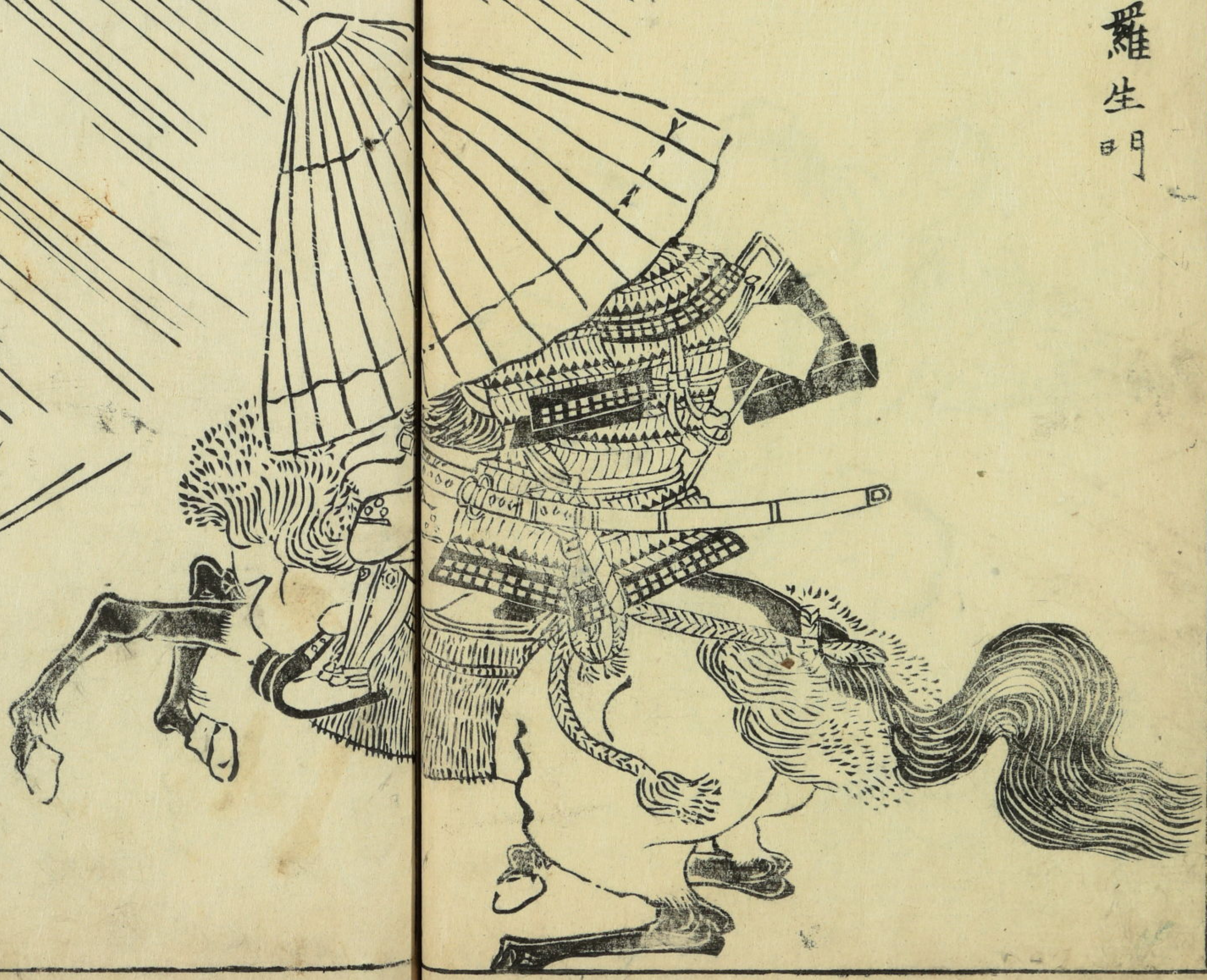


東方朔



畫本圖經卷五

羅生門



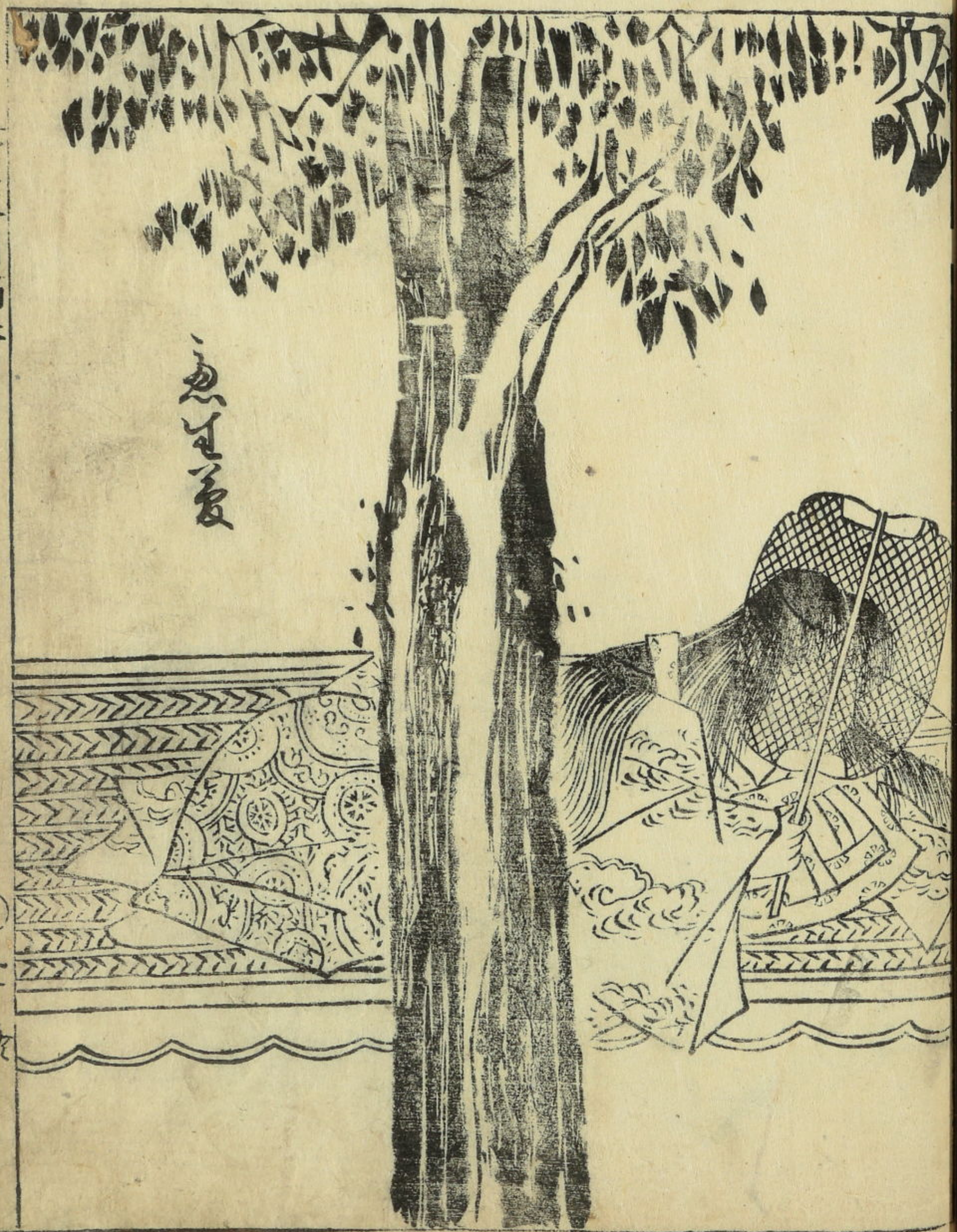


白子丸の子



もーのちり

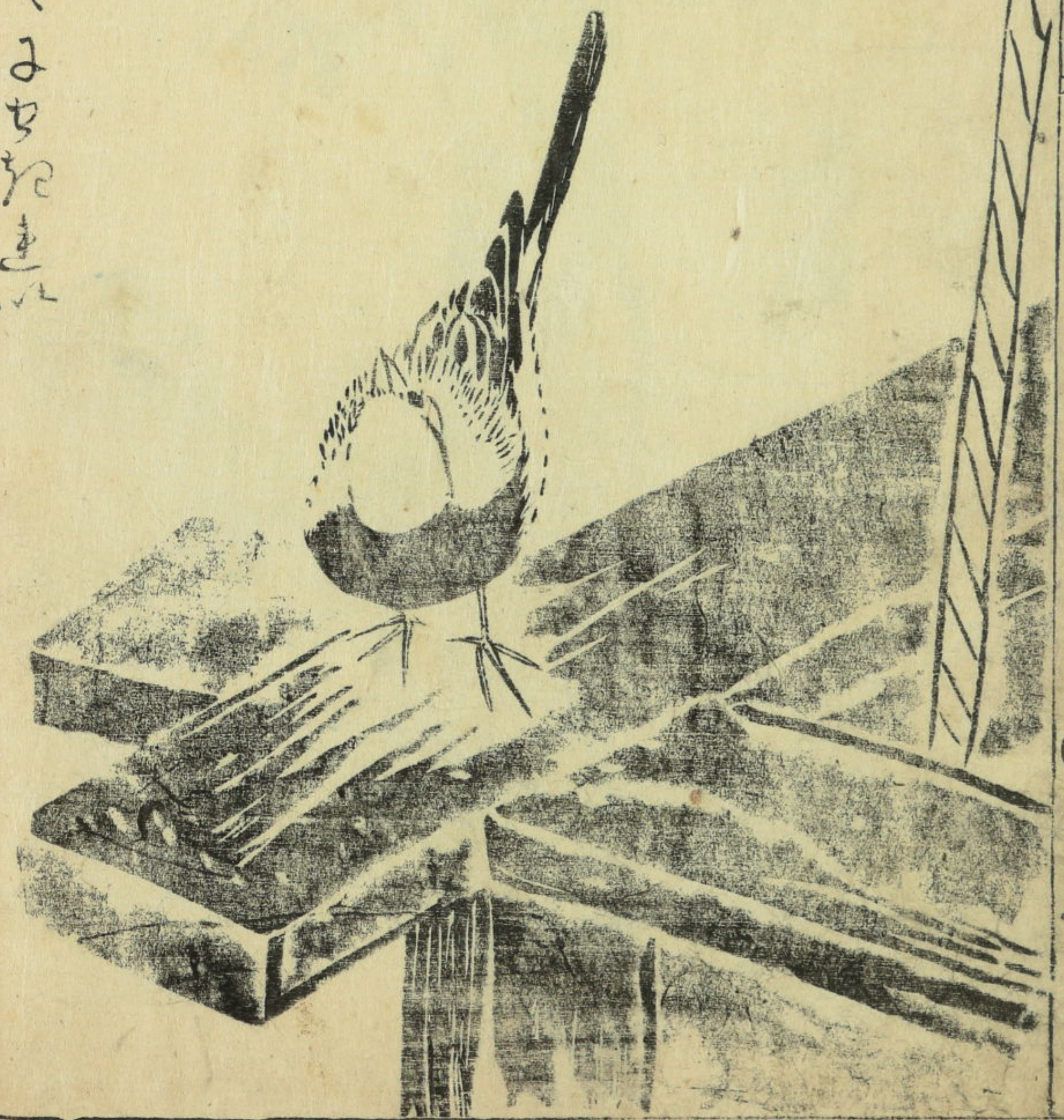
日本図説巻中



寫字



あつちのま



畫本圖編下卷目錄

福祿壽

继木片梅

籬子鳥瓜

琴基書画

菴子秋艸

高竹子みろこ

鉄揚

写手ひき

馬士片喧嘩

七騎房

萩子麻

鐘子葛

子も梅

司馬温公

義経西国房

月り菊

六款仙

玉子うら

ゆ切

虎

閑羽

三玉乃亀

福祿壽

三才圖會卷下



三才圖會卷下

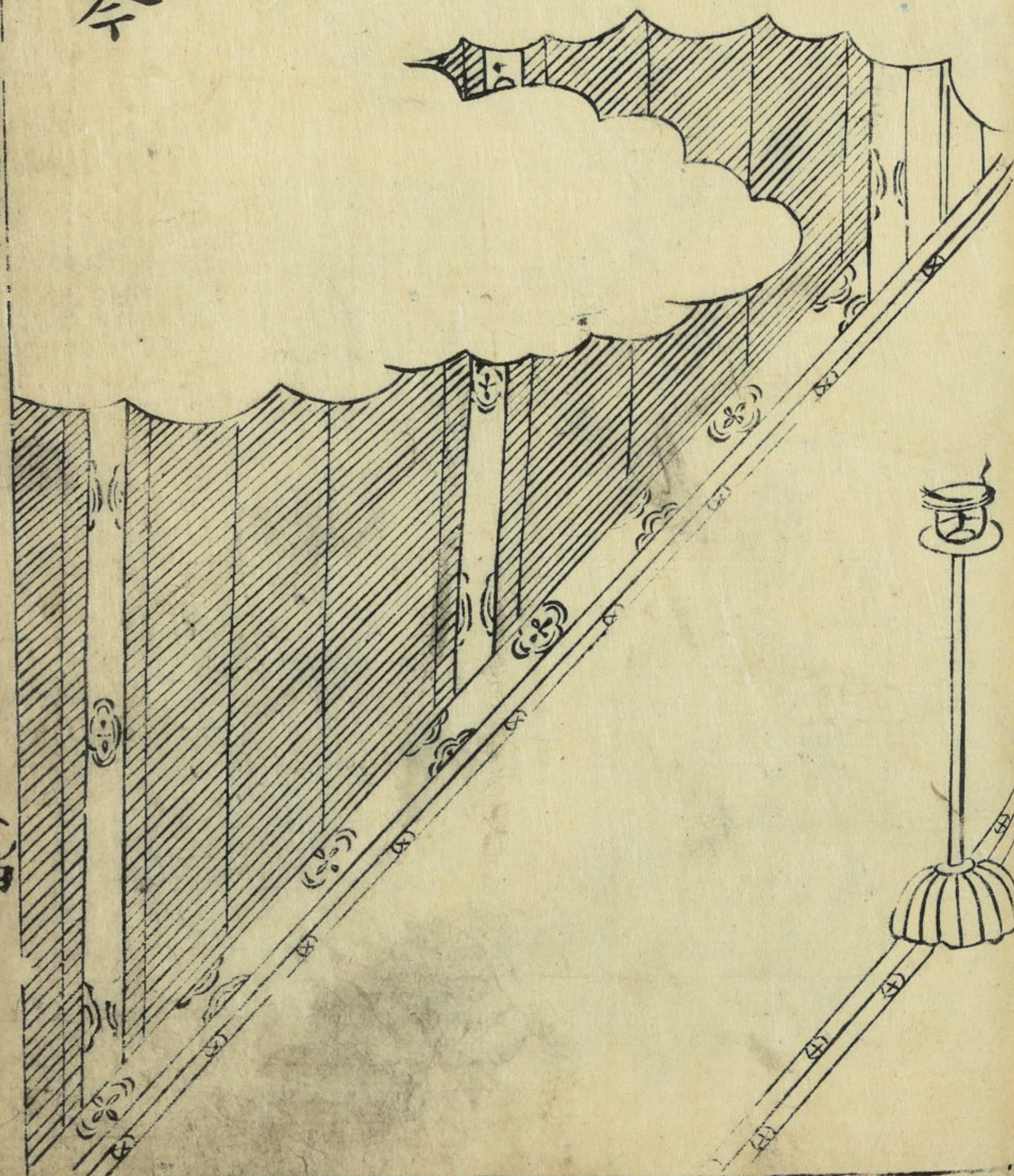
鳥 瓜



接梅の梅子花



琴



其



書



画



みろり



秋

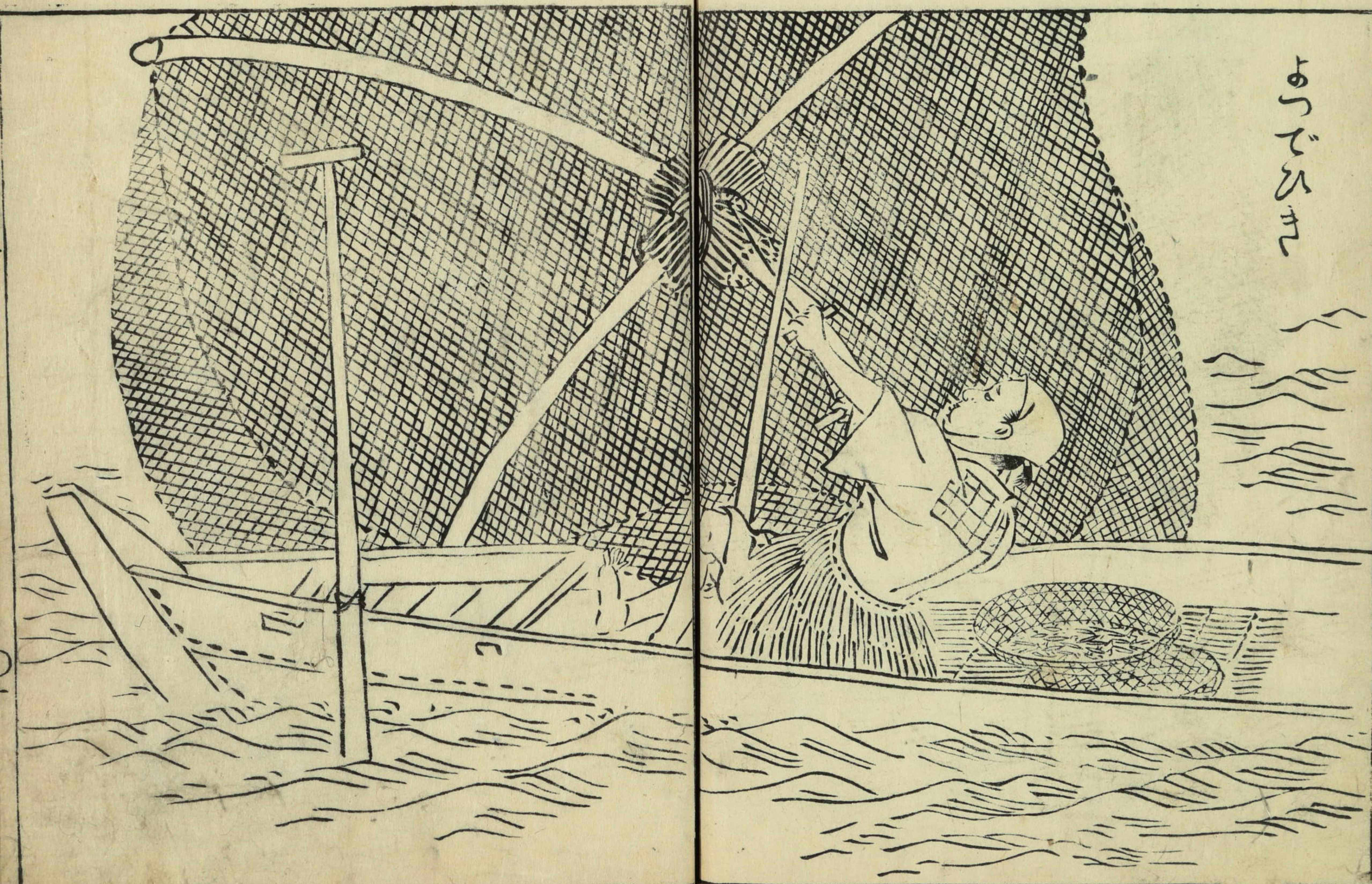




鉄拐



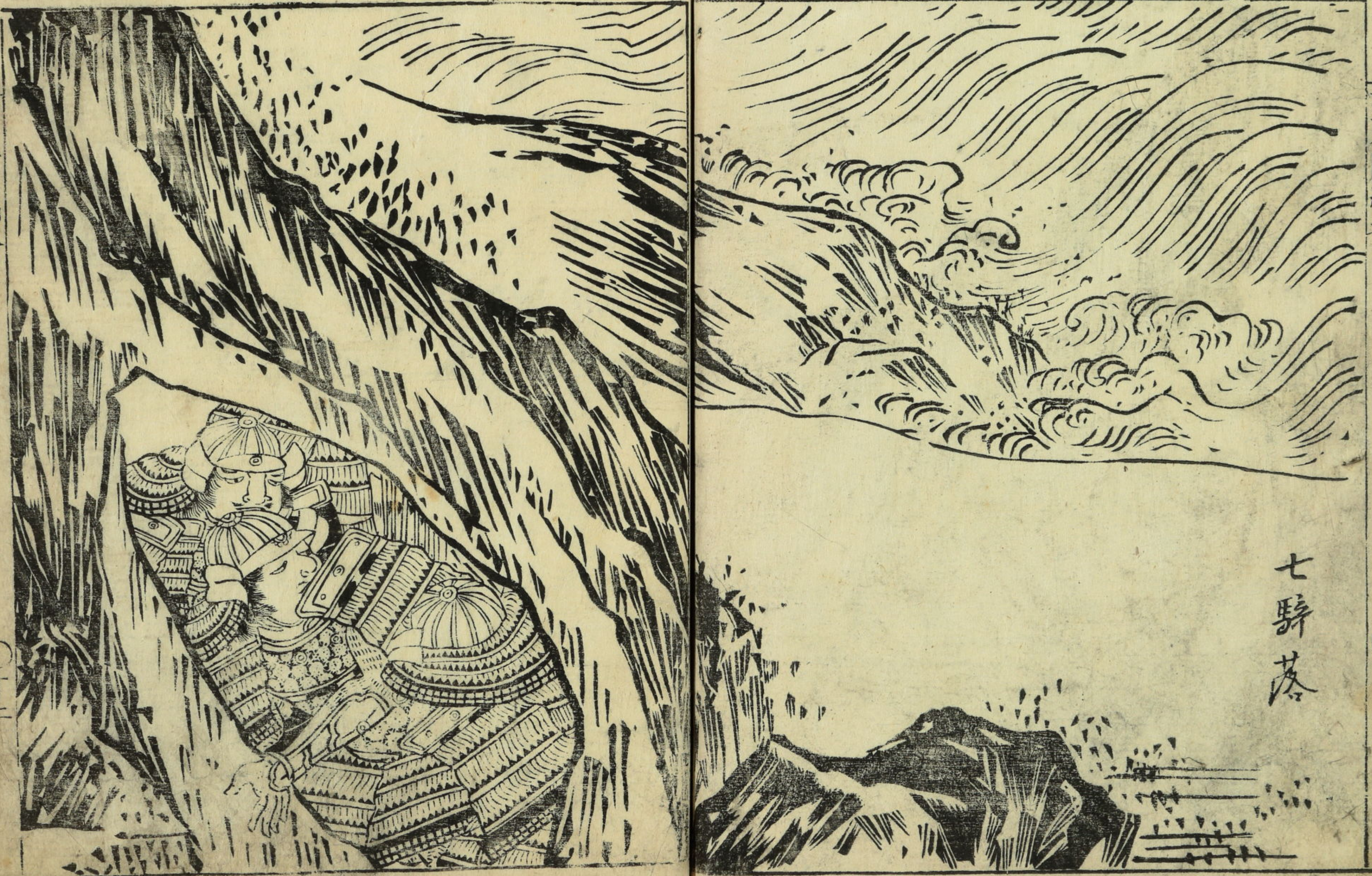
よつてひき



馬士のらんそ



七騎落





萩子



萩子

か
は
り
ろ
ち



司馬溫公



義經西國落



月よ云

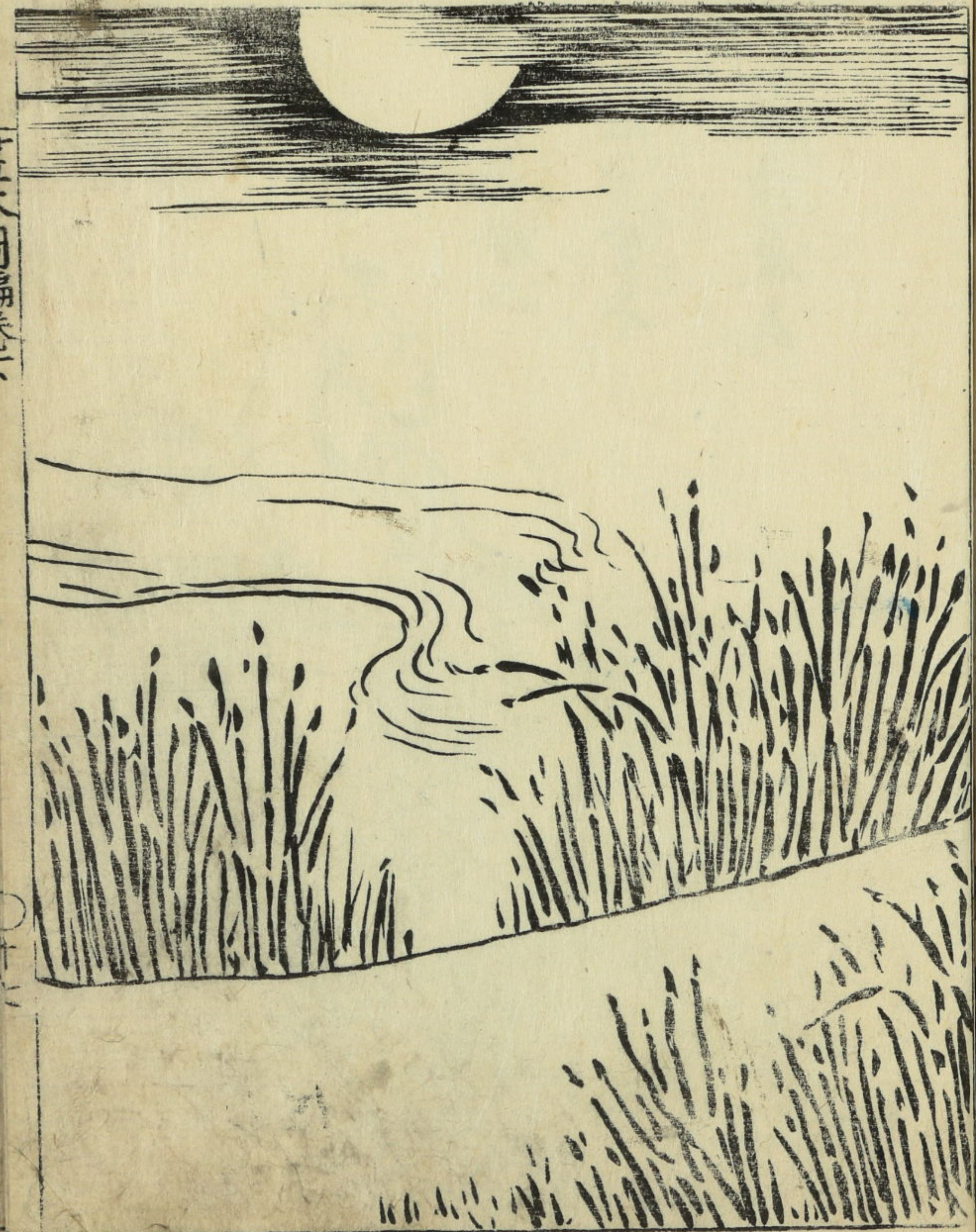
いづさう

その原ふれ

木の同さう

見れいつる

秋の夜の月



佛正通三

在系紫系

文屋康秀



小聖小町

氏孫法師

大友馬王





ひろくちの
蛇



よき
蛇

虎

畫才圖經卷一

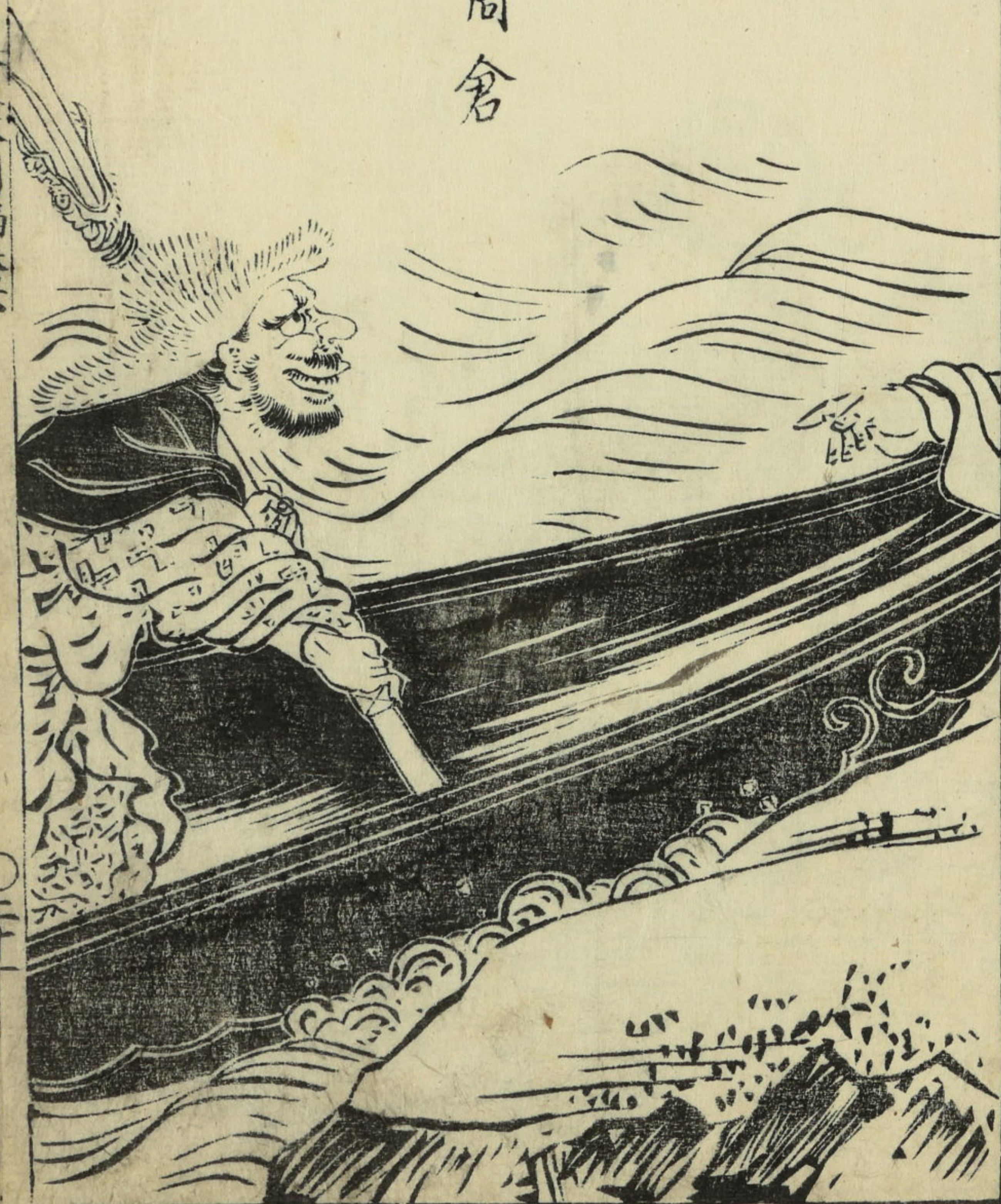


魯肅

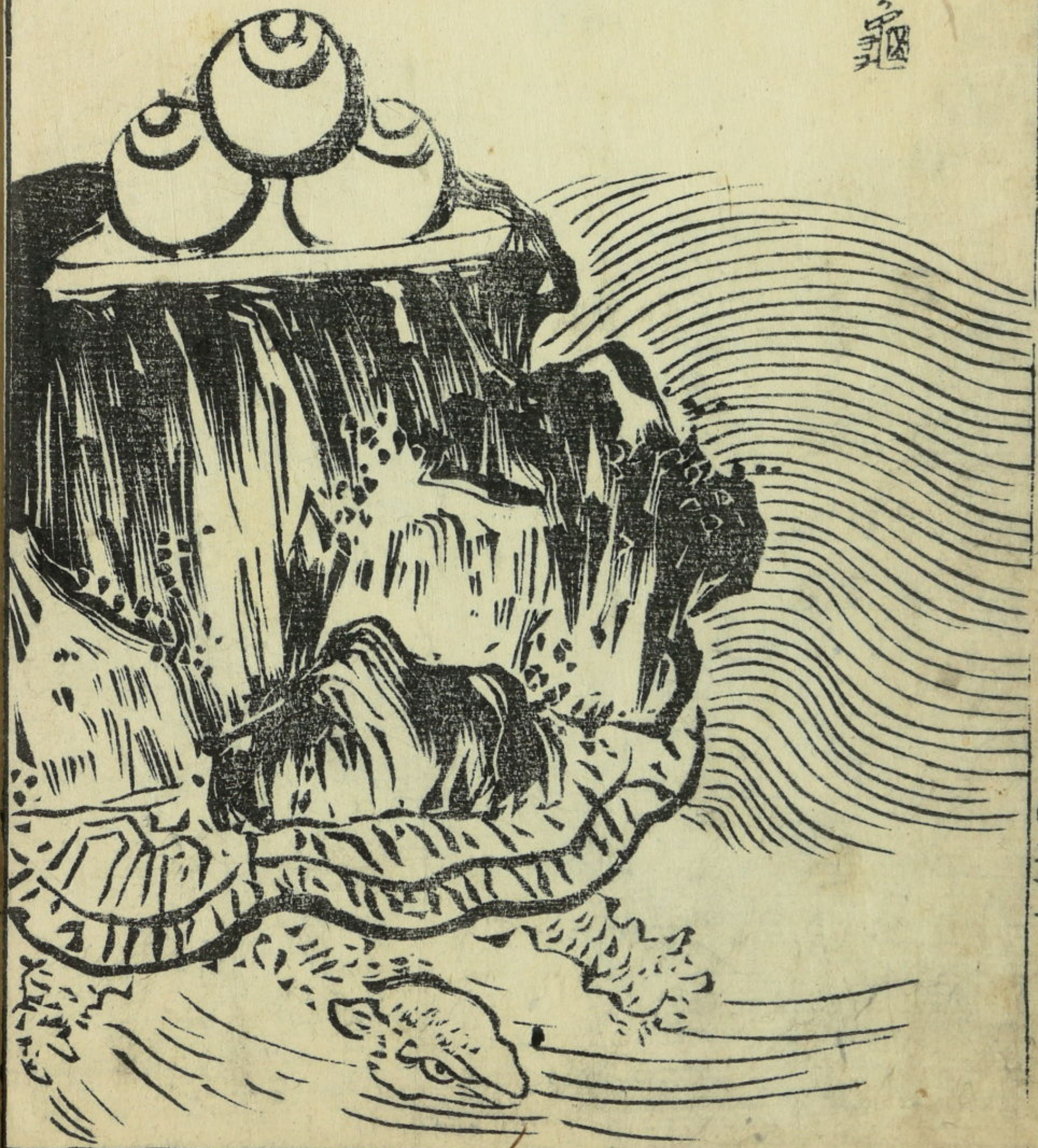
關羽



周倉



三玉龜



後序

一生涯画を好て神と云ふを
 凡ハ一天地皆画あるを以て
 画乃お小道あるを以てすこ
 先師心留るの妙世もて是なる
 亦かゝ様多の中弄を墨
 曲を何やる画又ありて又多
 是とあつむ今や其雄あるを以て

是は此のあり人れ目をあらしめ
る師の活法を公ふ人とならん
而已

寛延辛未之夏五

武江 英一蜂



大坂順慶町五丁目

彫工 藤江四郎兵衛

寶曆二歲壬申春正月吉日

大坂心齋橋安堂寺町

大野木市兵衛

書林

江戸日本橋北貳丁目

大和田安兵衛

全梓

